

シラバス

科目名	デッサン I	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	金原 寿浩
対象学年	1年前期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	石膏像、器物などの静物を中心としたモチーフを描画することを通じて、あらゆる造形活動の基本となる「ものを見る目（観察力）」を養います。		
到達目標	描写の基本的要素である構図・形態・調子・質感・空間などについて理解し、多様な造形表現に対応できる基礎的な描画力を身につけることを目標とします。		
授業の方法	目の前にあるものをしっかりと観て描く。見えないところを見る、考える。		
評価方法	作品の出来映えもさることながら、そこに至るまでに重ねた努力、探究心の度合いなど		
授業時間外に必要な学修	表現者として24時間常に自分の表現クオリティを上げるために身のまわりの事、世の中の事を結びつけて生活する。		
使用教材教具	何でも利用する		
留意点	消費者としてではなく、表現者、提供者として考えて生きる覚悟をかためるための2年間としてほしい。		

授業計画	
1	・デッサンについて ・授業の進め方 ・道具の説明 ・鉛筆削り
2	描写の基本 ① 四角、三角 スケッチブック、鉛筆
3	描写の基本 ② 丸、布 スケッチブック、鉛筆
4	静物クロッキー 立方体を様々な角度から B3クロッキー帳
5	】 静物 四角、三角 スケッチブック、鉛筆
6	
7	
8	】 静物 丸、布 スケッチブック、鉛筆
9	
10	
11	】 静物 木炭紙 木炭
12	
13	
14	】
15	
16	

シラバス

科目名	デッサンⅡ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	金原 寿浩
対象学年	1年後期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	石膏像、器物などの静物を中心としたモチーフを描画することを通じて、あらゆる造形活動の基本となる「ものを見る目（観察力）」を養います。		
到達目標	描写の基本的要素である構図・形態・調子・質感・空間などについて理解し、多様な造形表現に対応できる基礎的な描画力を身につけることを目標とします。		
授業の方法	目の前にあるものをしっかりと観て描く。見えないところを見る、考える。		
評価方法	作品の出来映えもさることながら、そこに至るまでに重ねた努力、探究心の度合いなど		
授業時間外に必要な学修	表現者として24時間常に自分の表現クオリティを上げるために身のまわりの事、世の中の事を結びつけて生活する。		
使用教材教具	何でも利用する		
留意点	消費者としてではなく、表現者、提供者として考えて生きる覚悟をかためるための2年間としてほしい。		

授業計画	
1	人物クロッキー B3クロッキー帳
2	・自画像クロッキー ・自画像用エスキース B3クロッキー帳
3	自画像 画用紙、鉛筆
4	
5	
6	個別に中間講評
7	
8	
9	講評会
10	静物 画用紙、鉛筆
11	
12	
13	
14	
15	講評会
16	

シラバス

科目名	デッサンⅢ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	金原 寿浩
対象学年	2年前期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	石膏像、器物などの静物を中心としたモチーフを描画することを通じて、あらゆる造形活動の基本となる「ものを見る目（観察力）」を養います。		
到達目標	1年次に学習した描画の基本的要素についてさらに理解を深め、形態や質感を的確に表現する高い描画力を身につけることを目標とします。		
授業の方法	目の前にあるものをしっかりと観て描く。見えないところを見る、考える。		
評価方法	作品の出来映えもさることながら、そこに至るまでに重ねた努力、探究心の度合いなど		
授業時間外に必要な学修	表現者として24時間常に自分の表現クオリティを上げるために身のまわりの事、世の中の事を結びつけて生活する。		
使用教材教具	何でも利用する		
留意点	デッサンする事（作品を創る事）で培われた、見方、考え方、描写（対処）で卒業後の仕事、対人、自己決定などあらゆる場面で応用して力強く生きてほしい。		

授業計画	
1	手 スケッチブック、鉛筆
2	石膏 木炭紙 木炭
3	
4	
5	
6	講評会
7	人物クロッキー B3クロッキー帳
8	・自画像クロッキー ・自画像用エスース
9	自画像
10	
11	
12	個別に中間講評

13	
14	
15	講評会
16	

シラバス

科目名	デッサンⅣ	必修/選択	必修
授業時数	60時間	担当教員	金原 寿浩
対象学年	2年後期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	石膏像、器物などの静物を中心としたモチーフを描画することを通じて、あらゆる造形活動の基本となる「ものを見る目（観察力）」を養います。		
到達目標	1年次に学習した描画の基本的要素についてさらに理解を深め、形態や質感を的確に表現する高い描画力を身につけることを目標とします。		
授業の方法	目の前にあるものをしっかりと観て描く。見えないところを見る、考える。		
評価方法	作品の出来映えもさることながら、そこに至るまでに重ねた努力、探究心の度合いなど		
授業時間外に必要な学修	表現者として24時間常に自分の表現クオリティを上げるために身のまわりの事、世の中の事を結びつけて生活する。		
使用教材教具	何でも利用する		
留意点	デッサンする事（作品を創る事）で培われた、見方、考え方、描写（対処）で卒業後の仕事、対人、自己決定などあらゆる場面で応用して力強く生きてほしい。		

授業計画	
1	静物 スケッチブック 鉛筆
2	
3	
4	講評会
5	手 スケッチブック 鉛筆
6	静物 スケッチブック 鉛筆
7	
8	
9	講評会
10	静物 画用紙 鉛筆
11	
12	

13		
14		
15		講評会
16		

シラバス

科目名	絵画 I	必修/選択	必修
授業時数	120時間	担当教員	福島 万里子
対象学年	1年前期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	ペン、水彩絵の具、色鉛筆など、様々な画材を使用して制作していく中で、自分の表現を追求します。		
到達目標	自身の得意な表現のジャンルを見つけ、その個性を最大限に伸ばし、自己表現へと確立します。		
授業の方法	実技中心の課題を決められた時間内で制作して提出します。		
評価方法	提出された作品の内容と制作の経過を総合的に評価します。成績評価は、提出課題が70%、出席評価が15%、授業態度が15%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	日頃より美術作品をはじめ、幅広いジャンルの創作物に触れ、自己の表現を探究すること。		
使用教材教具	各自必要な絵画材料		
留意点			

授業計画	
1	オリエンテーション／アクリル絵の具遊び(豆皿デザイン)
2	興味、関心、好みを集めるワークシート／幾何立体を描く
3	エスキースについて／シンプルな立体で架空の建物を描く(グリザイユ技法)
4	つづき
5	つづき
6	つづき
7	画肌と 構図(室内風景)／制作工程のショートムービー制作
(	つづき
9	つづき
10	つづき
11	(第2回) 興味、関心、好みを集めるワークシート／春夏秋冬のいずれか1つの季節を決め、自由制作
12	つづき
13	つづき
14	つづき
15	予備(完全しなかった作品等の調整)
16	予備

シラバス

科目名	絵画Ⅱ	必修/選択	必修
授業時数	120時間	担当教員	福島 万里子
対象学年	1年後期	実務/一般	実務教員
形式	演習		
学修内容	ペン、水彩絵の具、色鉛筆など、様々な画材を使用して制作していく中で、自分の表現を追求します。		
到達目標	自身の得意な表現のジャンルを見つけ、その個性を最大限に伸ばし、自己表現へと確立します。		
授業の方法	実技中心の課題を決められた時間内で制作して提出します。		
評価方法	提出された作品の内容と制作の経過を総合的に評価します。成績評価は、提出課題が70%、出席評価が15%、授業態度が15%で評価します。		
授業時間外に必要な学修	日頃より美術作品をはじめ、幅広いジャンルの創作物に触れ、自己の表現を探究すること。		
使用教材教具	各自必要な絵画材料		
留意点			

授業計画	
1	自分の持ち物を構成して描く
2	つづき
3	つづき
4	つづき
5	顔の成り立ち→自画像(素描)→人物ポーズについてと素描
6	人物ポーズ素描
7	自画像着彩
8	つづき
9	つづき
10	つづき
11	架空の個展計画シート／架空の個展のメイン作品制作
12	つづき
13	つづき
14	つづき
15	予備
16	予備